

今年も離島留学生の視点から、島生活や高校生活をお伝えしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



“冬、寒い”



“わたしの正月”

皆さん、あけましておめでとうございます。私は地元が神奈川なのですが、帰省中なかなか寒くて参りました。

ですが、寒さも良いものです。寒さで布団から出たくない、というのもまた趣きがありました。そんなことを理由に布団に籠る冬休みでした。それでは、また。

(石井拓登)

新年明けましておめでとうございます。私は東京に帰省してきました！母親と学校や部活や寮の出来事を話して盛り上がりました。久しぶりに家族で囲って食べるご飯は美味しかったです。

そして、帰りの飛行機から富士山がはっきり見え、1人で興奮してしまい、沢山写真を撮ってしまいました。いつか富士山に登ってみたいです！

(三好夏鈴)



じんぶん館ブログ“離島留学生の日々”が魅力化HPにてリニューアル！是非こちらも読んでください。→

大切な土壌を守って、島の自然も守ろう

大事な耕土が流れていませんか？

大雨の後、赤土が流出して道路や海が真っ赤に染まっているのを見たことはありませんか？

河川や海岸への赤土流出による自然環境への汚染は、水産業や観光産業にも悪影響を及ぼし、沖縄県内全域で深刻な社会問題になっています。久米島町は沖縄県内で重点監視区分に指定されています。

手間や費用をかけて作った良い土壌は、営農の基盤であり、農家にとって貴重な資源です。大雨で流されてしまつては、農家自身の損失も多大了。

農地だけではない！ 山林や漁場まで

赤土流出による環境汚染は、河川や山林の希少生物、沿岸海域のサンゴ礁生態系に大きな被害を及ぼします。また海への流出は、ダイビングなどの観光産業だけに

農家自身ができる対策として

- ①側溝のふちギリギリまで耕さず、側溝に落とした土は拾い上げましょう
 - ②機械の乗り入れなどで側溝を壊してしまつたら、すぐに直す。
- 農家としてのマナーと考え、あなたの土壌と島の自然を守るため、赤土流出防止の対策を心がけましょう。

赤土流出防止をお手伝い！

久米島赤土流出防止対策協議会では、沖縄県の事業を活用し、農地からの耕土流出を防止するためのお手伝いを行なっています。申し込みにより、対策を希望する農地で農家自身とともに状況を確認し、各農地に合った対策方法を決めていきます。(限られた対策方法なので、事前にご相談ください。)



お問合せ：町役場 産業振興課
電話番号：098-985-7134